

Kawazawa Meeting 2025

軽井沢ミーティング2025 ~笑顔。逢える。~

2025年5月24日(土)、25日(日)

会場：軽井沢プリンスホテル＆軽井沢プリンスホテルスキー場駐車場／主催：軽井沢ミーティング実行委員会
協力：軽井沢プリンスホテル、軽井沢プリンスショッピングプラザ 後援：軽井沢観光協会

33回目の軽井沢。

まず、準備段階のあれこれ、
今年の新情報、裏情報などをご紹介。

2025年の開催にあたって、軽井沢プリンススキー場からの「軽井沢町役場でイベント開催協議終了確認書を取得し提出して欲しい」という要望に応えるべく、半年前から動き始めました。
○2024年11月11日前日の清里ミーティングから軽井沢に移動し泊。佐久法務局にてスキー場周辺の別荘の土地登記簿(所有者名)取得。



5月25日(日)駐車券がある車両の駐車場への入場～退出方法 & 駐車券がなくチケットがある方の入場方法とご注意

駐車券人のチケット	第1駐車場の駐車券があるロードスターを運転または同乗、全員が事前申込済み人のチケットを持参	第2駐車場の駐車券があるロードスターを運転または同乗、全員が事前申込済み人のチケットを持参	第3駐車場(アウトレットP7駐車場)の駐車券はいりません、人のチケットを持ってる方
駐車場	第1駐車場	第2駐車場	第3駐車場(アウトレットP7駐車場)
クルマの入場口	第1駐車場ゲート	第2駐車場ゲート	アウトレットP7駐車場ゲート
クルマの入場口の開門時間	8時00分～9時30分※開門以前の会場近辺での路上停車は、一切ご遠慮ください。 ※ゲートは9時30分に完全にクローズします。	8時00分～9時30分※公道の洪湯防止のため、開門以前は、軽井沢町、会場近辺の道路への乗り入れを遠慮ください。 ※ゲートは9時30分に完全にクローズします。	8時00分～9時30分※公道の洪湯防止のため、開門以前は、軽井沢町、会場近辺の道路への乗り入れを遠慮ください。 ※ゲートは9時30分に完全にクローズします。
共通の注意	人のチケットの無い運転者、同乗者は一切入場いたしません。駐車場は場内速度5km/h以下厳守。	○開門時間中に、第1駐車場入口に車でお越しの上、乗車のまま、ゲートスタッフに、駐車券と人のチケットを提示し、指示に従って入場し、駐車枠に停車ください。	○指定期間中に、アウトレットP7駐車場ゲートのスタッフに、乗車のまま、ゲートスタッフに、駐車券とのチケットを提示し、誘導に従って駐車してください。駐車後は、必ず駐車券と人のチケットをもって降り、受付テントに持参し、提示ください。 ○開門時間中に、第1駐車場入口に車でお越しの上、乗車のまま、ゲートスタッフに、駐車券と人のチケットを提示し、指示に従って入場し、駐車枠に停車ください。駐車後は、必ず駐車券と人のチケットをもって降り、受付テントに持参し、提示ください。 ○開門時間中に、第1駐車場入口に車でお越しの上、乗車のまま、ゲートスタッフに、駐車券と人のチケットを提示し、指示に従って入場し、駐車枠に停車ください。駐車後は、必ず駐車券と人のチケットをもって降り、受付テントに持参し、提示ください。
入場方法／注意	イベント開催時間中、メイン会場(第1駐車場)から、第2駐車場、アウトレットP7駐車場への出入りには、受付テントを通しての必要があります。	○開門時間中に、第1駐車場入口に車でお越しの上、乗車のまま、ゲートスタッフに、駐車券と人のチケットを提示し、誘導に従って駐車してください。駐車後は、必ず駐車券と人のチケットをもって降り、受付テントに持参し、提示ください。	○開門時間中に、第1駐車場入口に車でお越しの上、乗車のまま、ゲートスタッフに、駐車券と人のチケットを提示し、誘導に従って駐車してください。駐車後は、必ず駐車券と人のチケットをもって降り、受付テントに持参し、提示ください。
人の再入場について	14時30分までは、第1駐車場から、原則、車両の途中退出はできません。ご注意ください。どちらかの事情で緊急の退出の必要な場合に発生した場合は、駐車券持参の上、本部テントまでお越しください。事情等を伝え、スタッフの指示に従ってください。	14時30分までは、第2駐車場から、原則、車両の途中退出はできません。ご注意ください。どちらかの事情で緊急の退出の必要な場合に発生した場合は、駐車券持参の上、本部テントまでお越しください。事情等を伝え、スタッフの指示に従ってください。	P7は一般的な有料駐車場なので、イベント開催時間中およびその後も、車両の出入り可能です。ただし、料金（入場後2時間無料、以降時間ごとに100円）がかかりますので注意ください。 退出時は、ゲートで駐車料金を支払って、退出ください。 なお、P7では一般的なアウトレットのお客様も駐車します。駐車場での会話、テーブル、椅子等の行為になる行為は、遠慮ください。
車両の途中退出について	第1駐車場からの退出：朝入ったゲートからの退出となります。ショッピングモール前の渋滞で迂回するため、全車右折(渋水方向)のみの退出となります。	第2駐車場からの退出：朝入った入口からの退出となります。第2駐車場は16時00分を過ぎると閉鎖しますので、16時00分までの退出をお願いします。	家に着くまでミーティングです。帰り道もお気をつけ！
閉会後の車両退出について	閉会後は、第1駐車場、第2駐車場への車両の入場は一切できません。車両すれ違いによる事故防止、駐車場占有の防止、会場撤収作業の円滑化のため、ご了解ください。		
閉会後の駐車場入場			



○2024年11月21日 每年事前後に連絡をとっている軽井沢観光協会さんから、2024に引き続き、2025の後援承認書が到着。

○2025年1月6日 イベント開催案内を所有者(東京、埼玉、USA等)に発送。意見回答は1/17までにて。

○1月8日 意見メール1件受信、返信し、その返信をもらって落着。どちらかと言えば励ましてもらえた。

○1月26日 実行委員会、MRYで対面(年初は顔を合わせたいめ)とオンライン併用で開催。都便料金が上がったけれど、今年は往復がけで駐車券応募受付の形を継続することを決定。ここ数年目立ち始めた第1駐車場の途中退出を原則禁止にすること、アンケートをオーライにすると、抽選は全参加者のカードを入れた箱で実施、なども決定。駐車券応募用紙などを文面修正開始。

○1月31日 實行委員会で、始めての第1駐車場の途中退出を原則禁止にすること、アンケートをオーライにすると、抽選は全参加者のカードを入れた箱で実施、なども決定。駐車券応募用紙などを文面修正開始。

申し込み用紙の文面=公式サイトに掲載する「途中退出」関連の文言を確認、意見を出し合い、修正終了。印刷屋さんに入稿。

○2月12日 軽井沢町役場にイベント開催協議書類一式を提出。中軽井沢駅施設に訪問挨拶。今年もミーティング同日にマルシェイベントがあるため、ミーティング参加者の中軽井沢駅周辺の公共交通機関の利用禁止を、公式サイトに掲載し、チケット類を送付する封筒に印字して発送することを継続することを伝達。スキー場に進捗報告。

○2月13日 ショッピングプラザ(アウトレット)事業所訪問挨拶。今年も駐車場利用と配布用ターポンの提供を依頼し承を得た。会報が到着し始めたと同時に、公式サイトにFAQページを開設

駐車台数や抽選など、軽井沢への疑問質問に応えるべく、軽井沢ミーティング公式サイトに4月下旬、FAQのページを設けました。一段と問い合わせが減りました。

◆公式サイトにFAQページを開設

駐車台数や抽選など、軽井沢への疑問質問に応えるべく、軽井沢ミーティング公式サイトに4月下旬、FAQのページを設けました。一段と問い合わせが減りました。

◆2025年は1,100台の駐車枠に對し、昨年より75台減の3,011台(昨年の応募数3,086台から2%減)の応募がありました。うち途中退出予定車は、379台で応募ロードスター全体の12.8%でした。落選は1,900台(63%)でした。ほぼ3台に1台しか当選しないという状況は変わらず。今年も駐車券がない人も、チケットを事前購入すれば人の入場は可能となりました。当日券はありません。2026年も同様の方法での開催となりそうです。

◆飯野さん招待

1996年、会場を軽井沢プリンススキー場駐車場に移した時からずっと軽井沢ミーティングのロードスターを祀った「星乃道神社」にもお参り。

2023年6月に奉納したオレンジ色の御神体も輝きを失わず。寄進者の銘の隣にはクリスマスティックを貼る板も設置。軽井沢に行くメンバーはぜひ自分の愛車のかわりにミニカーを持参して、車両登録で電子登録し、領事書、切符など駐車券証明書と一緒に手元に持てください。また、軽井沢プリンススキー場の近隣駅の有料駐車場ごとに利権用の車両登録で電子登録し、領事書、切符などを手元に持てください。

◆飯野さん登壇

1996年、会場を軽井沢ミーティングのロードスターを祀った「星乃道神社」にもお参り。

2023年6月に奉納したオレンジ色の御神体も輝きを失わず。寄進者の銘の隣にはクリスマスティックを貼る板も設置。軽井沢に行くメンバーはぜひ自分の愛車のかわりにミニカーを持参して、車両登録で電子登録し、領事書、切符などを手元に持てください。

◆車両登録の方法

駐車券の裏面には、ショッピングプラザや駅構内の一般駐車場は一切使



終打ち合わせをオンラインで、この時点では雨っぽい天気予報を気にしつつ、事前申込状況などを報告。当日の段取り改善、最終レイアウト、天災など発生の際の危機管理プランなどについてもいつもどおり討議。

◆公式サイトにFAQページを開設

駐車台数や抽選など、軽井沢への疑問質問に応えるべく、軽井沢ミーティング公式サイトに4月下旬、FAQのページを設けました。一段と問い合わせが減りました。

◆2025年は1,100台の駐車枠に對し、昨年より75台減の3,011台(昨年の応募数3,086台から2%減)の応募がありました。うち途中退出予定車は、379台で応募ロードスター全体の12.8%でした。落選は1,900台(63%)でした。ほぼ3台に1台しか当選しないという状況は変わらず。今年も駐車券がない人も、チケットを事前購入すれば人の入場は可能となりました。当日券はありません。2026年も同様の方法での開催となりそうです。

◆公式サイトにFAQページを開設

駐車台数や抽選など、軽井沢への疑問質問に応えるべく、軽井沢ミーティング公式サイトに4月下旬、FAQのページを設けました。一段と問い合わせが減りました。

◆2025年は1,100台の駐車枠に對し、昨年より75台減の3,011台(昨年の応募数3,086台から2%減)の応募がありました。うち途中退出予定車は、379台で応募ロードスター全体の12.8%でした。落選は1,900台(63%)でした。ほぼ3台に1台しか当選しないという状況は変わらず。今年も駐車券がない人も、チケットを事前購入すれば人の入場は可能となりました。当日券はありません。2026年も同様の方法での開催となりそうです。

◆公式サイトにFAQページを開設

駐車台数や抽選など、軽井沢への疑問質問に応えるべく、軽井沢ミーティング公式サイトに4月下旬、FAQのページを設けました。一段と問い合わせが減りました。

ルバムはロードスターと桜でいっぱいでした。/ 33回目の軽井沢ミーティング。/ たくさんの35周年車も来てくれるのでしょうか。/ 35年分の楽しいを集めて、ずっとこのクルマを愛している方も/ 今年はじめましての方も/ 「笑顔」と「大好き」をもって、いつもの場所にあります。/ 祝! NC20周年/ ND10周年
軽井沢ミーティング実行委員会委員長
高橋優一

5月24日(土)晴れ 曇り、夕方から雨

●コマ地図ラリーとコマ地図ドライブは中止

スキー場駐車場からスタートして、軽井沢近郊の最高に気持ちいい道のドライブと景観、クイズでも楽しみ、距離も計算しながらゴルールするコマ地図ラリー。そして同じコースでドライブを楽しむコマ地図ラリー。ここ数年、参加が合計で100台以上に増えたことによって、チェックポイントの駐車場不足やスタッフへの過負荷などの問題が発生し、安全確保を含め短期間での解消が難しかったため、2025年は休止しました。再開を望む声も寄せられていますが、現時点では同じ形の再開は難しいです。

●会場準備あれこれ

天気予報は土曜は曇りで夕方から雨、日曜の雨は、長期予報では夕方まででしたが、日が近づくにつれ徐々に早くかかる方向になっていく、もう信じるのみ(笑)。朝8時すぎ、高橋委員長、古山くんらクラブpeaのメンバーでレイアウトの確認。テントは昨年ほどは同じ大小3種類34張り。今年もダスマスで張り付けたところ、ドーム状の傘で覆われた張り出しがありました。傘を並べられて、傘で囲まれて、車両の晴天でもご利益あると信じてください。

●事前参加申込状況

5月24日 前夜祭258名+子供3(前年260+3)、宿泊234名(238)、
5月25日 ミーティング 大人計2,586名(2,600名)=一般2,479名+SHOP107名+広報プレス不明、別途子供50以上、ペブルカーナー7名(4)、SHOPお店22+ケバブキッチンカー出店 内数 V(ボランティア)スタッフ、委員、pea含め、131名(141)、駐車券保有参加台数 ロードスター1,096台+ボランティア83台+他車9台=合計1,188台、IP 669台=546台+ボランティア106台+ショップのRSは19台(デモ車含まず)、2P 199台、3P 296台(うち他車15台)
参考：駐車券あり申込者の型式比率(デモ車含まず)ロードスター1041+ボルト106=1,145台(NA252(283)22%、NB104(106)9%、NC111(98)10%、ND532(519)47%、RF133(123)12%)

From Chairman—2025年—

ロードスターに乗っていると、いろんなことを感じます。/ 季節の巡り。/ 風のにおい。/ 春は毎年桜を探しに出掛けたりして。/ スマホのア

ルバムはロードスターと桜でいっぱいでした。/ 33回目の軽井沢ミーティング。/ たくさんの35周年車も来てくれるのでしょうか。/ 35年分の楽しいを集めて、ずっとこのクルマを愛している方も/ 今年はじめましての方も/ 「笑顔」と「大好き」をもって、いつもの場所にあります。/ 祝! NC20周年/ ND10周年
軽井沢ミーティング実行委員会委員長
高橋優一

午後は、前夜祭会場에서도かけ、横断幕を設置しつつ、貴島さんのトーク時に使うプロジェクトのア

Karuizawa Meeting 2025

笑顔
逢える。

スクリーンの設置も、レンタルの10%の価格で購入(笑)。昇降式のバトンに横断幕の下に設置したため、しづが多くなつてしまい画像が見にくかったり…来年以降の課題。苦笑。

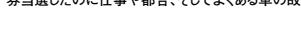
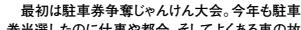
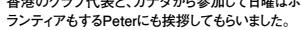
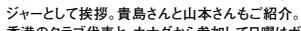
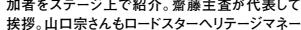
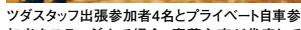
三次での10・20・30周年ミーティングのPA(音響)関係をやってくれ、毎年軽井沢でも前夜祭と日曜の音響をまかせているリンクスの西原くん(0708005)は今回、スタートレビューのコンサート日程とかぶって、部下の川中くん・軽井沢は3回目くらいが代打。電源、スピーカー・ライン設置など事前の準備。最後に各所をプレマシーで回って確認して、17時前に会場までホテルに向かいました。

●前夜祭パーティー

前夜祭パーティーの参加者はほぼ昨年の258名。1テーブル7~8名で33テーブル。食事はひとりずつ提供のディナー型式。海外からの前夜祭参加はオーストラリア3、香港8、カナダ1の12名が参加。日曜にはオーストラリア6、カナダ1、香港8、フィリピン11、タイ13の39名が参加とりました。

開場前に委員で最終打ち合わせ後、ロビーで自分が座るテーブル番号(事前に事務局で決定)を確認した参加者の入場をお迎えします。

司会は9806018片桐美鈴さんと私水落、そして浜島くん。開会宣言後、実行委員紹介、高橋委員長挨拶と乾杯。マ



隣で参加できなくなつた方々からのキャンセル駐車券を、前夜祭に参加した駐車券がない人たち60名くらいで争奪じゃんけん勝負。獲得した10名の笑顔がよかったです。

他の宿泊施設から前夜祭に参加している人に举手してもうと40%くらいが該当。愛車で来てないですよね?と、同じテーブルの人たちにも強く飲酒運転抑止のお願いをさせてもらいました。来年は、より明確に規制することも検討中です。他の宿泊施設利用者の割合がもっと多くなると、残念ながらコロナ時以来の前夜祭中止も検討することになりました。

歓談時間に、Club Over40'sが、能登支援のチャリティTシャツを翌日会場で販売することを告



知りたいこと。熟年のメンバーたちがたくさんステージにあがってきたので、寸劇でもしてくれるかと期待しましたがそうではなく(笑)、本人たちも参加者も黙づかう前の告知は効果があったようです。

翌日、83枚券売上げた、と市川事務さんから連絡も

らいました。よかったです。

メインイベントは、NC20周年をテーマとした貴島さんのトーク。当時一緒に開発した宗さんもサポート。2人とも当時の人馬一体ブルゾンを着用。懐かしいです。当時のスタッフの集合写真に映った笑顔たちも印象的でした。

4月の南九州から始まったこのふたりのコンビトークは、しばらく各地で見られそうです(笑)。

そのあとは、NDの10周年にあたっての山本さんからショートトーク。昨年発売のND開発本についての話もありました。

最後はNDの元チーフデザイナー、おなじみの中山雅さん。翌日の会場で発表するので、それまで守秘という約束を参加者にしていた上で、6/4で60歳になるのを機に6/10付でマツダを退職する、というサプライズ発表。スポーツカーのデザインの基本を久しぶりにホワイトボードで実際に描き、



参加者から「お疲れ様」と感謝の大きな拍手がありました。今号から始まった中山さんの连载(P16)の今後も楽しみです。「ろどすたぐん」の着ぐるみをRCOJが作ってくれたはず、という話が本人からありました。もし作ったら中山さんが着ることになることを本人が理解しているかは未確認です。笑。

ラストのじゃんけん大会を仕切るのは、2年前からじゃんけんクイーンの田中杏奈ちゃん(6歳)とその父親(実行委員の田中大介さん)。今年も最初に杏奈ちゃんが英語でコーナー紹介して場内を湧かせ(笑)、マツダが提供してくれたマツダ100周年記念写真集5部と資生堂とコラボで作った「魂動」フレグランス5本の争奪じゃんけん。勝ち抜いた方々、おめでとうございました。田中親子も、お疲れさまでした。

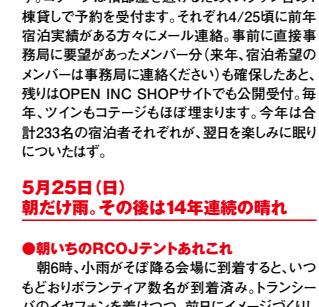
私の閉会挨拶は、いつもの「NAサイコー、おーつ」から「明日も楽しむぞっ、おー!」で締めて、21時ちいに無事終了。今年も充実の2時間でした。



●プリンスホテルウエストツイン、コテージ宿泊

プリンスでの前泊は、例年、主に非公開で事務局で団体料金での予約を受付ています。ソインは45部屋、コテージは4人、6人、8人用合計30棟ほどを事前にプリンス堀口さんに確保してもらっています。コテージは相部屋を選択するため、スタッフ含め1棟貸して予約を受付ます。それぞれ4/25頃に前年宿泊実績のある方面にメール連絡。事前に直接事務局で要望があったメンバー(来年、宿泊希望のメンバーは事務局に連絡ください)も確認したあと、残りはOPEN INC SHOPサイトでも公開受付。毎年、ソインもコテージもほぼ埋まります。今年は合計233名の宿泊者それぞれが、翌日を楽しみに眠りについたはず。

RCOJテント内の商品準備中にトランシーバーから秒読みが聞こえ始め、8時、第1駐車場のゲートオープン。3ヶ月間の苦労が走馬灯のように…笑。



●朝いちのRCOJテントあれこれ

朝6時、小雨がそぼ降る会場に到着すると、いつもどおりボランティア数名が到着。トランシーバのイヤフォンを着けつつ、前日にイメージづくり

たRCOJテント内の商品並べ。目玉は通販で大変だったオリジナルルミカ(笑)。事務局日記参照)。昨年好評だった「もみじ饅頭」は、長期予報がよくならなかったので断念(苦笑)。商品のなかで唯一賞味期限があるRCOJオリジナルロードスタークリッキー72セットは星過ぎには完売しました。たくさんの方にビーターにも感謝。

MADZAの展示車は2リッターエンジンがキャラクターで到着。ステージテントの内外に設置。マツダ用テントにはこの日発売のコラボドライビングスニーカーの展示試着コーナー。その他昨年アンケートへのお礼やバッグやブルゾンなども展示。マツダコレクションの通販サイトの紹介も。

●ボランティア集合、ショップ入場、一般入場

7時からはもうじき雨があがりそのままの下、総勢131名(昨年から10名減)のボランティアミーティング。初ボランティアが6名くらい。マツダからは齋藤主査、山口宗さん、岩内さん、諫山さん、松岡さんの合計5名もボランティアに参加。ピップスや説明棒も配布。朝食は、おにぎり2個(今年も実行委員の加藤さん)が佐久の西友で6時に4個購入して搬入)とベットボトルのお茶が支給されます。高橋委員長の感謝の挨拶、当委員大古くんが作った分担表でそれぞれの担当場所を確認し、それぞれのリーダーのもとで段取りや基本業務を打合せ。

7時30分までに、全部で22店舗のショップさんが第2ゲートから入場。ショップの入場対応(チェック、車両証確認)は今年も松島夫妻。場内では私はショップ対応、1台遅刻が発生した以外、ほぼ問題なくショップ入場完了。その後松島くんは岡田くんと一緒に軽井沢駅の参加者誘導担当の門前駅へ。若葉さんはRCOJテントのヘルプ(後出)に来てもらいました。

RCOJテント内の商品準備中にトランシーバーから秒読みが聞こえ始め、8時、第1駐車場のゲートオープン。3ヶ月間の苦労が走馬灯のように…笑。



●開会式

10時、実行委員の浜島くんの司会でスタート。高橋委員長から開会挨拶。参加者からのたくさんの拍手が、今年も開催できたな、としみじみさせてくれます。出張とプライベート(自走参加)おりまぜ、マツダスタッフの紹介。齋藤主査が代表挨拶。貴



島さんと山本さんも紹介しました。そして、ステージテント内の12Rに座れる権利争奪じゃんけん大会。12名が整理券を獲得。

●ショットオープ

開会式終了後、場内2箇所のショッピングストリートがオープン。入場規制のロープをオーブン待ちしていた参加者がバイロンから落としてくれます。皆がスタッフ。笑。

RCOJテントは、昨年同様入店行列を減らして参加者に時間有効活用してもらえる入店時間指定整理券によるファストパス方式。松島若葉さんが今年も入口担当。行列最後尾の方に「ここが最後尾」看板を持ってもらったり。行列ができるたら整理券を配りつつ、整理券なしの行列は20人程度に制限し、整理券保有者を優先しつつ店内人数10人前後をキープして入店してもらう方式。今年も、若葉さんのおかげでうまくいきました。ほんとありがとうございます。片桐美鈴さんと事務局Yokoのレジ2



公道の渋滞緩和のため、第2駐車場は8:20から入場開始になりますが、駐車場前の道路は、第2の開場待合のローリング車両なども混じって今までブリンドル通りまで渋滞が伸び、日々の110番通報が入りました。来年は新たな対策として第2駐車場の開場時間を20分遅らせて、8:40にします。受付テントでは、今年も駐車券有無と人のチケットのチェック、駐車券、チケット忘れは数件発生(どちらも心を鬼にして入場不可です)。受付テントと本部テントでクレデンシャルケースは1個100円以上のチャリティで約1300個を販売しました。

8時過ぎに9806018片桐美鈴さんと博也さんがRCOJテントに到着。松島若葉さん、事務局Yokoと共に店内の最終調整。岸田さんも到着。片桐博也さんは、RCOJの旗の前でおなじみのメンバー記念撮影担当。今年は一層、積極的な声かけを、たくさんの方の笑顔を残してくれました。

RCOJテントの商品準備中にトランシーバーから秒読みが聞こえ始め、8時、第1駐車場のゲートオープン。3ヶ月間の苦労が走馬灯のように…笑。



Karuizawa Meeting 2025

笑顔
逢える

<軽井沢はスタッフも楽しめます。>



軽井沢ミーティングは、単一車種で毎年実施するイベントとしては世界最大規模。でも、主催はマツダではなく、大きな会社ではありません。関東圏のクラブ他有志(2025年は18名)による「軽井沢ミーティング実行委員会」の主催です。毎年お伝えしていますが、RCOJの主催ではありません。委員会から、問い合わせや参加申込のフルタイムの窓口運営業務を、RCOJ事務局が受託しています。

委員会では軽井沢ミーティングの規模を大きめにすることを目指してきましたが、開催についての告知は、本誌と公式サイト以外ではほとんどしていません。当日のボランティアも含め、参加者といっしょに自分たちも楽しむ場を作り続けること、その目的のために重ねてたたかう改善が、結果として参加者の増加につながって来たと思っています。もちろん、ロードスターを継続生産してきたマツダのおかげもあります。ユーザーとの交流で得たものが次のモデルに活かされてきたこともその要因です。

実行委員は、各々が担当業務のリーダーとなり、当日はそれぞれの委員の仲間や一般参加者のボランティアスタッフの協力を得て軽井沢ミーティングが運営されているのです。

これも何度もお伝えしてきたが、軽井沢ミーティングでは、実行委員も含めすべてのスタッフが一般参加者と同じ参加費を払ってます。もちろん委員やスタッフに人件費が払われることは一切ありません。日曜早朝の駐車誘導ボランティアには駐車枠が確保され、朝食としておにぎり2個とお茶と、ボランティア缶バッヂが配られます。仕事で来ているわけではないからこそ、委員もスタッフも一般参加者と同じように楽しめるのです。一般参加者より早く起きてちょっと眠いスタッフの元気の源と報酬は、参加者からの「楽しかったです。」「お疲れさまで～す。」というひと声と笑顔、そしてドーティングと一緒に創っているという自負です。

2025実行委員会18名 (50音順()内は主担当)
9605133大川恵一(1P川側場内誘導駐車)、
0510010大古哲生(1P場内誘導駐車統括、ボランティア監督)、0005027岡田直紀(軽井沢誘導、ペダルカー)、9706004加藤誠(2P入口誘導、本部業務)、1607007五味俊夫(3P-2P歩行者誘導、スタートアーズ)、9704012新藤日出雄(本部業務)、9606031杉木亮治(3P入口路上)、
1004010高木亮佑(1P入口路上プリンス通り側、スタートアーズ)、9605117高橋優一(会場レイアウト全般、第1ゲート受付)、9801001田中大介(スタートアーズ)、9703018富田佳光(3P全体)、
1204002奈良輪康弘(1P山側場内誘導駐車)、
1903009野口正貴(第1ゲート受付)、9605008浜島秀和(司会)、1507013松島輝秋(SHOP対応、軽井沢誘導)、松島若葉(SHOP対応)、事務局・水落正典(事務局・進行全般)、9605054吉田雅彦(司会サブ、本部)

2025運営協力スタッフ (敬称略順不同)

同じ参加費を払って、実行委員のことで業務分担しつつ、全員が他の業務にも協力します。彼らが

ボランティアスタッフにも支えられて、軽井沢ミーティングが成り立っています。皆、ロードスターを愛する仲間です。ちょっと早起きして来てくれる当直の駐車場誘導スタッフは黄色のバス(メッシュのベスト)を着用しています。「おつかれさまです～」のひと言で、みんなあわせになります。2011年から新たに「ボランティア缶バッヂ」を作製配布しています。これは、ボランティアの皆さんへの感謝の気持ちと、本人が誇りに思えるような参加証として作っています。ボランティアとして参加するたびに勲章のように胸や帽子に増えて行くよう、毎年デザインを変えて製作しています。

●日曜の駐車誘導ボランティアはここ数年、経験者とその紹介者のみで運営しています。早起きの分、第一駐車場に専用スペースが用意されます。RCOJメンバーで新たにボランティア参加希望の方は、2026年1月末までに事務局まで連絡ください。ただし、人数过多の場合はボランティア参加いただけないこともありますのでご了解を。●前夜祭: 片桐美鈴●前夜祭&日曜音響: 中川大輔●本部対応: 小林潤一、中村守康、丸島健右●日曜受付: 池田勤、伊沢良二、大川靖宏、岡崎和裕、小澤かずこ、裕由紀子、古山英洋、鈴木和則、鈴木広信、高橋拓馬、高橋亮馬、永山勉、永山直人、平野正幸、武藤義人、村井尚大、横沢慎一、浅香智、天沼重明、飯島利彦、金井広行、金井佐代子、川端博昌、北爪絃平、正田哲雄、瀬下亨一、高田光隆、高田悠平、高野晋一、田口武、田谷野寛之、中曾根清、中曾根英雄、中村伸司、水村哲、井上隼人、金沢芳典、金田拓也、窪田孝夫、小杉和明、坂本聰、坂本千美子、杉崎誠、松永晃一、山崎浩之、青谷修二、秋元秀行、諫山慎一、一宮亮、岩内義人、岩田靖史、上田良平、牛山天晴、牛山美咲、海老原健太郎、太田寿一郎、岡田千枝子、菊地太郎、菊地文子、工藤耕一、工藤秀俊、小林耕史、斎藤茂樹、斎藤誠、茂田直大、栗石将太、鈴木由美、鈴木清実、瀬端宏之、櫛橋誠、櫛橋美紀、對馬健一、手塚正臣、豊田優、西川佳男、長谷川浪次郎、檜皮聖子、藤井和人、松岡信宏、間宮智将、水落美

<実行委員会からの今年の寄付合計572,343円>
今年の寄付内訳は下記です。参加者の皆さんが楽しみながらできる活動として、今後も、毎年寄付を継続します。
<能登地区震災義援金募集中>
令和6年能登半島地震災害義援金の募集中箱を、今年も受付テントに本部テントに設置しました。オリジナルクリアシールドの売上よりも募集中箱へ入れてもらいまして、また出店ショップさんから協賛いただいた一部商品のオークション売上げの合計 基金箱188,067円+オークション84,000円=272,067円を義援金に寄付いたしました。

<軽井沢モーテイング実行委員会からの寄付> JCV:「世界のこもるワクザイ」を日本委員会への募金

こどもたちの未来の夢をかなえる活動の一助になれば、と、2005年から寄付を継続しています。寄付金額は、2022年までの年間の参加人数に、MMR:くじらか、おたふくかぜ、三日月のかのワクザイ3点セットの金額114円を乗じて決定していましたが、経費高涨により、2023年にはMMRワクザイ価格はほぼ倍額の225円となっています。その金額を参加人数分寄付するのは難しかったため、2023年度以降も、参加者1人あたり114円の寄付を継続することになりました。参加者2人でごとも1人分のMMRを寄付する形になります。今年2025年の参加人数は2,634名でしたので、2,634名×114円=300,276円を送金しました。ちなみに2008年から今までのJCVへの寄付総額は約400万円です。今もまだたくさんの皆さんがワクザイを寄付してくださることになります。

